一般社団法人大阪知的障害者福祉協会機関紙

"try""angle"に「挑戦する視点」の意味を込め、3つの頂点に「当事者・家族・支援員」「施設・行政・地域」「過去・今・未来」などの多様な視点を重ねて、点から線、線から面に広げる支援への思いを込めています。

Vol.154

トライアングル

TRY ANGLE

2019 春・夏号

発行日／令和元（2019）年7月　発行／一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会　発行責任者／松上利男　編集／松嶋桂子
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号　大阪府社会福祉会館内
TEL 06-6763-3785　FAX 06-6763-3759　E-mail osaka-chifukukyo@giga.ocn.ne.jp

座談会 ―― 作業の確保と工賃の関係性

障がい福祉と言っても、多様なサービスや事業形態に分かれています。携わっている事業形態においては、支援を通しての工夫や課題など見えてくるものがたくさんありますが、逆を言えば携わっていない事業形態の情報というのは触れる機会が殆どないのが実情だと思います。

今回は、現場支援員の方々が目にする機会も多い広報機関紙「トライアングル」の中で、就労関係の取り組みや工夫・課題などについて就労支援部会所属の事業所職員さんに伺い、福祉に従事されている皆様のお役に少しでもなればと思います。

令和元年5月16日（木）開催

玉城 由美子（かしま障害者センターLink　支援課長）
中野　　亮（ワークショップ虹　生活支援員）
平間　幸洋（とうふく　生活支援員リーダー）
山本　秀明（四条作業所　生活支援員）

広報委員長　松嶋桂子
広報委員　水津由依（記録）、吉岡裕幸（司会・執筆）

作業の確保

吉岡　作業種別として、①施設内作業・②施設外作業・③自主製品などがありますが、どのような作業提供をしていますか？

山本　事業は生活介護です。日中活動の中で①ボルトの組み込み、電子部品の組み立て、リクシルの配水管組み立てをしています。②大東市から優先調達として公園掃除及びトイレ掃除を週3回、有償ボランティアとして地域神社清掃を週1回行なっています。③ビーズや組み紐（伊賀の伝統工芸）作りをしています。

中野　事業は生活介護で軽作業を主に行なっています。①陶芸、園芸、木工、石鹸パッケージ作業、電線の剥離、会報準備、インターホン組み立て、パンや焼き菓子なども作っています。②枚方市内小学校45校を対象に留守家庭児童会という学童保育におやつ、牛乳やタマゴの配達を1日あたり5～6件程度行なっています。③さをり織りをしています。

玉城　事業は就労移行中心の多機能になりますが、①リネン

座談会：作業の確保と工賃の関係性……1
●ぶらり施設訪問記●
相談室わらいと……3
●ちょっとつぶやきリレー●
にいたかの里　管理栄養士　内村尚子……3
第53回大阪フレンドシップソフトボール大会……4
● REPORT ●
一般社団法人大阪知的障害者福祉協会総会・研修会・意見交換会を開催……4

サプライを主に病院や介護施設で使われるバスタオル、タオル、病衣の洗濯などをしています。②工場でのライン作業や清掃委託作業（淀川区役所、国際会議場エントランス、企業）をしています。イオンや空港などにあるサニタリーボックスの洗浄と出荷も委託を受けています。③特にないです。

平間　事業は就労継続支援B型があり、①ダイソー商品を中心に食器棚シート梱包、カラーまな板袋入れ、災害用などにも使用される携帯用ミニトイレの袋入れをしています。その他にはボルトナット袋詰め、シーラー止め、ホッチキス止めなどもあります。②エルチャレンジからの紹介で高校の清掃作業（トイレ掃除、校内の掃除）を月に3～4回行なっています。③特にないです。

吉岡　それぞれの障がいのある利用者さんがいると思いますが、作業に関われるような役割工夫などどうしておられますか？

山本　以前は取引業者が多く工程の多い仕事を揃えて、それぞれの利用者さんが関われるようにしていましたが、現在は仕事の流れを利用者さんも分かってきて、皆で分業をしています。

中野　毎朝打ち合わせを行ない、利用者さんが選べるように仕事の内容を伝えています。参加する事に意味があり声かけや寄り添う支援を大切にしています。

玉城　リネンが中心なので、やり直しがきいてクレームになりにくい作業内容になっていて色々な方に取り組んでもらいやすいと思います。本人の特性に合わせて作業を配置しています。

平間　流れ作業の中で分業をしています。個々の出来る所をさらに伸ばしていけたらと思っています。利用者さんのやる気が落ち込まないように、何かしらの仕事があるようにしていて、各利用者さんの出来る所を伝え合ってお互いに認め合える環境作りもしています。

工賃の関係性

吉岡　すべての作業の中で工賃を占める割合はどのようになっていますか？　また、平均工賃は月あたりどの程度支払えていますか？

山本　作業時間は9時～15時で、工賃額は月5千円～8千500円です。（それ以外に賞与年2回）

中野　作業時間は10時～15時で、工賃額は1日800円×出勤日数です。（それ以外に賞与年3回各1万円）

玉城　作業時間は9時半～16時で、工賃額は時給一律300円＋施設外作業に行くと別手当があり、平均工賃額は3万6750円程度です。（それ以外に賞与3万円程度）

平間　作業時間は9時～16時で、工賃額は月2万円程度です。

その他

吉岡　ここ最近、社会福祉法人以外の事業参入がありますが、事業運営及び利用者確保について危機感、施設の強みや工夫点のようなものはありますか？

山本　生活介護事業なので取り合いはないです。企業は色々な展開がしやすいでしょうし、社会福祉法人は努力をしていかないといけないと感じています。

中野　利用者さんファーストを第一に考えています。（24時間365日対応）

玉城　企業の参入の影響はないです。利用者主体で考えると選択肢が増えて良いのでは。本人に必要な環境が整っているか見学に行ったり、面談やすり合わせを行ない、その上で選んでもらえる事業所にする必要があると思います。悪徳な所については、行政に通報する時もあります。

平間　利用者確保への不安は拭えないです。支援学校への営業や、実習生受け入れをして事業所が出来る事をしています。

＊　＊　＊

吉岡　今回の座談会では、生活介護での日中活動と就労継続支援B型からの意見で、双方の立場から事業展開を通しての事業所特色や取り組みを比較しながら進める事が出来ました。そこに共通していたのは、利用者さんにとってどうなのかという利用者ファースト視点と工夫を形に表していたことで、温かい支援の思いがたくさんありました。

ぶらり施設訪問記

社会福祉法人 和光福祉会
相談室わらいと

泉南郡熊取町朝代東４丁目 11-4

訪問日：
令和元年５月 16 日（木）
取　材：
上月 直樹（広報委員／隆光学園）
杉 扶早子（広報委員／大和川園）

この度、大阪府熊取町にある社会福祉法人和光福祉会で相談支援事業を行っている「相談室わらいと」を訪問しました。和光福祉会は、昭和59年に知的障がい者入所更生施設「熊取療育園」を開設。法人の基本理念として「利用者ひとりひとりの可能性を求めて、充実した人生を創造できるよう心のこもった支援を目指す」としている法人です。相談室わらいとは、平成９年障害児（者）地域療育等支援事業として事業を開始し現在にいたります。

今回の取材では、相談支援事業について、専門員の現状について様々なことを伺いました。その中で、相談支援を行うにあたり大切にしていることや、相談支援事業の現状について、相談室わらいと管理者見学つむぎ氏、相談支援専門員田中良一氏、池田裕治氏に話を伺いました。

■相談支援を行うにあたり大切にしていること

相談支援専門員の方に意識していることや気を付けていることについて伺いました。利用者と話し合う事が中心となる仕事であるため「利用者の声に耳を傾ける。聴く」ことを意識しているとおっしゃっていました。

利用者の方が話したいことを聴く。話題を変えても受容し傾聴する。支援計画においても利用者の方の思いを重視しながら「頑張りましょう」と応援することや「これならどうですか?」と利用者の方の思いに合うものを提示し寄り添う事を大切にしています。

■相談支援事業の現状について

教育機関との連携が課題であるとのお話もありました。学校の先生方は当然、児童生徒についての守秘義務を守る立場があり、何をする人なのか今一つ分からない相談員に、児童生徒のことを伝えることは難しい面があります。しかし相談員が、その子どもさんが一日の多くを過ごす学校での様子を知らないまま支援するのは、良くないことだと考えています。教育機関の方々に、相談支援専門員の業務や役割について知っていただけるような働きかけが必要だと話されていました。

また「相談室わらいと」では、特定相談支援、障害児相談支援のほかに、熊取町から委託を受けての障害者相談支援事業も行っています。熊取町在住の障がいのある方やそのご家族の、障害福祉サービスの利用に至る前の相談や、サービス利用とは違う支援を必要とする相談にも応じているとのことでした。

ちょっとつぶやき…リレー

食べることが、生きること

にいたかの里　管理栄養士　**内村 尚子**

栄養士というと、ただ献立を立てる人のように思われますが、「食べる＝お食事」を正確に、楽しくできるように伝える仕事だと思います。

今、日本に空腹の人は少ないと思いますが、栄養不足の人は多いのです。お腹が大きくなっても体は飢えている！

では「楽しく、正しく食べる。」とは？「同じものを食べない。」という事です。

昼ごはんに魚を食べたなら、夕食は肉を食べましょう。野菜が朝・昼あまり食べれてなければ、夕食にしっかり野菜を食べましょう。おやつ代わりに野菜ジュースを飲んでもいいですね。

難しく考える必要はありません。満腹か？空腹か？ではなく、今日何を食べたか？昨日は何を食べていたか？振り返る事で、正しく食べる事ができます。

そして「楽しく」。食器を変えてみたり、いつもと違う場所で食べたり、と少し美味しく食べられる刺激を加えてみてください！（お食事に雰囲気＝ムードは大切ですね。）

「正しく、楽しく食べて健康に！」を多くの人に伝えたい。管理栄養士として、この気持ちを忘れず、栄養士らしく頑張ります。

次回は「向陽学園」の山下 珠穂（しほ）さんにお願いします

第53回大阪フレンドシップソフトボール大会
～垣根を越えた交流の場～

令和元年6月6日（木）、快晴の中、大阪府久宝寺緑地公園陸上競技場に21チームが集まり開催されました。令和になって初めての今大会は猛暑日でしたが、選手の皆様は暑さに負けずに、熱戦を繰り広げられていました。

選手の方に感想を伺うと、「楽しかった！」「優勝できて嬉しかった！」「負けて悔しい。来年は勝ちたい！」などの感想が聞かれました。また、チームを引率する職員の方からは、「昨年まで出場していた選手が施設を退所され、試合に勝てるかどうか心配していたが、試合に臨む選手たちの様子を見ていると、いつの間にか不安な気持ちが無くなっていた」「練習中に怪我をしてしまい、思い通りのプレーができない選手がいたが、試合中の頑張る姿に感動した」など、チームのエピソードを伺うことができ、様々な思いを持って大会に臨まれていることを知りました。

取材をしていると、違うチームの選手同士が、会話をされている様子がとても印象的でした。話を伺うと、「毎年ソフトボール大会に出場して、話をするようになった」とのことでした。選手が所属しているチームの職員に話を伺うと、「ソフトボール大会で知り合って、お互いに意識するようになり、良い刺激になっている」「他事業所の利用者同士が交流する機会は少ないが、ソフトボール大会に出場して、交流を深めることができて嬉しく思う」と話して下さいました。まさに、大会名にある『フレンドシップ』を感じることができた一場面でした。

最後に、大阪フレンドシップソフトボール大会は、大会運営にご尽力を頂いている実行委員の皆様、大会に出場するチーム関係者、単独チームでの出場が難しく、他事業所と合同チームを組んで出場する事業所など、いろんな人のつながりで成り立っています。毎年、ソフトボール大会を取材させて頂いておりますが、改めて事業所の垣根を越えた交流を、これからも大切にしていきたいと感じた取材となりました。

（広報委員　吉村周一）

リーグ	優　勝	準優勝	3位／4位
A	向陽 ALLSTARS	敷津浦学園	サンライズフェニックス／クリエイトしき A
B	中津学園	ガッツせんぼく	チーム光生会／さらの郷さらーず
C	わららか	KIRARI'S	熊取療育園ベアーズ／隆光・わらしべ
D	つばさアスレチックス	支援センターさくら	月の輪学院
E	支援センターしらさぎ	科長の郷	クリエイトしき B
F	ガッツとうふく	第二博愛	四条畷福祉会

REPORT

一般社団法人大阪知的障害者福祉協会総会・研修会・意見交換会を開催

令和元年5月24日（金）、ホテルアウィーナ大阪にて平成31年度一般社団法人大阪知的障害者福祉協会総会を開催しました。

当日の出席者は95名で書面による議決権行使66名、計161会員事業所の承認を得て、全ての議案が承認されました。

総会終了後、引き続き行われた研修会では、111名の方に参加をしていただきました。前半に大阪府の行政報告として、「平成30年度大阪北部地震及び台風21号の被災状況」「南海トラフ巨大地震の被害想定等について」のテーマで大阪府危機管理室防災企画課地域支援グループ中家貴士氏にご講演をしていただきました。後半は「大規模災害時における福祉サービス事業所の事業継続計画について」というテーマで認定NPO法人ゆめ風基金理事八幡隆司氏にご講演をしていただきました。

研修会終了後は、意見交換会を39名ご参加の下、開催しました。